

大泉

春、三月

校長 中岡 盛一

三寒四温の言葉通り徐々に暖かくなつてまいりました。校内の梅が今が盛りと咲き良い香りを漂わせています。桜の蕾もピンク色に膨らんできました。いよいよ修了式、卒業式の弥生三月、学年末の月となりました。一年生から五年生までの三百七十八名がそれぞれ進級し、六年生一組二組五組の九十名が卒業します。

この一年間、お子さんの健全育成、学力向上のため、学校の様々な運営にご理解をたまわり、本当に感謝いたします。宿題などの家庭学習や各種様々な提出物にご協力ありがとうございました。また、二年一組では、担任が看護と健康により途中で替わったこと、子供たちと保護者の方にはご心配とご迷惑をおかけしました。

次年度も今年度同様、学校と家庭・地域が一体となって教育成果を挙げてまいります。教育方針や活動をご理解いただきご協力いただければ幸いです。さて、学校評価アンケートの結果と考察をお知らせしているところですが、来年度のことについてお知らせしたいと思います。

一、三学期制への移行
既にご周知申し上げていますが、四月

<発行>
練馬区立大泉小学校
<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1
TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



から二学期制から三学期制に戻ります。具体的には、夏休み前の終業式、後の始業式、冬休み前の終業式、後の始業式が新しく入り、年三回通知表をお渡しします。今まで以上に細かく子供たちの様子を見取ってご家庭にお知らせしたいと思えます。また、授業時間を今まで以上に確保するため、六月一日の開校記念日は通常授業といたします。台風やインフルエンザ等予期せぬ休校に備えての対応になります。

二、新一年生と学級編制

新一年生は現在のところ男子三十二名、女子三十六名計六十八名で、二学級編制の予定です。教室配置は元に戻って、現在二年生が使用しています一階の教室が新一年生となり、現在の一年生は教室変更が無くそのままとなる予定です。新入生や転校生が多くなった場合は、学級数が変わり教室配置が大幅に変わる可能性があります。学級編制替えは、例年通り今の一年生、二年生、四年生で行います。

三、オリンピック・パラリンピック教育の推進

平成三十二年の東京オリンピック・パラリンピック大会開催に向けて、練馬区の小中学校で取組を行うこととなりました。次年度は主に指導計画作成をします。

四、リオオリンピック・パラリンピックに卒業生が出場します。
・伊藤正樹さん：トランポリン
・岩淵幸洋さん：卓球（パラリンピック）

3月の行事予定

- 1日（火）安全指導・安全点検
保護者会（56）
- 2日（水）六年生を送る会
- 3日（木）委員会活動
- 4日（金）保護者会（34）
- 7日（月）巣立ちの会
- 9日（水）特別時程5時間授業
避難訓練
地域班下校
- 18日（金）大掃除
特別時程
- 21日（月）春分の日
- 22日（火）卒業式練習（6）
- 23日（水）卒業式練習（56）
給食終
- 24日（木）修了式
卒業式予行
- 25日（金）卒業式
- 26日（土）春季休業日始

※緊急地震速報音によって防衛態勢をとる「予告なし」の避難訓練を行います。

卒業おめでとう



《3月の生活目標》 「身の回りの整理整頓を しっかりとしましょう」

今月の目標は「身の回りの整理整頓をしっかりとしましょう。」です。
学校で使う教科書や文房具類は整理整頓できていますか？机の中やランドセルはどうでしょう？やりっぱなしにしていることはないでしょうか？

身の回りが乱雑になっていると、集中して学習に取り組むことができません。また、身の回りの乱れは、心の乱れにもつながっていきます。使いたい物がすぐに出てこなくて、イライラしたり、やる気がなくなってしまうたりすることもあります。反対に整理整頓されていると、やる気がでたり、落ち着いて取り組むことができたりしますよ。

気持ちよく学習に取り組むために、学習道具を大切に扱い、身の回りは整理整頓を心がけましょう。それに、自分の回りをきれいにしておく、他の人も気持ちよく過ごすことができます。

整理整頓がどうしても苦手という人がいるでしょう。そういう人はまず、「使った物は必ず元に戻す」「物の住所（しまう場所）を決めておく」「持ち物には自分の名前を書く」ということを習慣づけるようにしてみましょう。

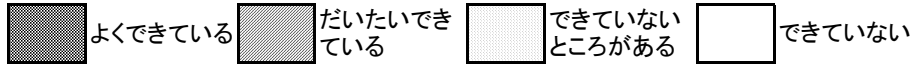
三月は総まとめの月です。今まで使ってきた教室、持ち物をきれいにしながら、今年度の自分を振り返ってみてもいいかもしれませんね。お家の方からも声かけよろしくお願ひします。

（和久井智洋）

平成27年度 学校評価アンケートの結果報告と考察

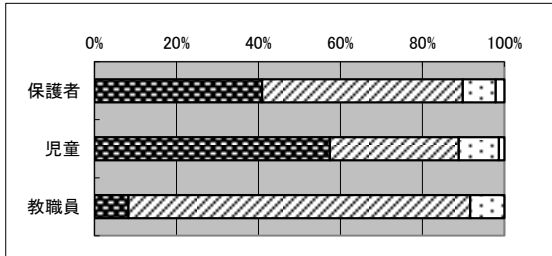
学校評価のアンケートでは、ご協力ありがとうございました。保護者・児童(3年生以上)・教職員の結果をまとめましたので、ご報告いたします。

今後も、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



1. 漢字学習、計算学習など基礎的・基本的な内容を確実に学ばせます。

授業では、何を勉強するかが分かっていたか。(児童)



現状
 ・各学年、基礎的・基本的な内容を学ばせようと指導法を工夫して取り組んでいます。

今後
 ・基礎的・基本的な内容の定着を図るために、学習の機会を確保するようにします。
 ・火曜日の朝学習の時間を活用して、国語の基礎的な学力の定着を図っていきます。

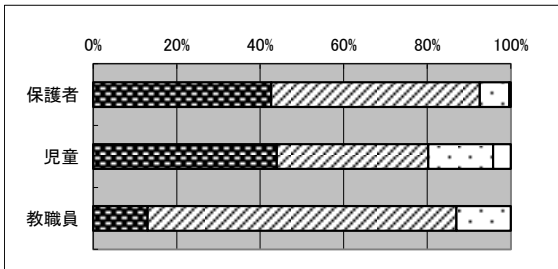
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
27年度	89.9%	88.9%	91.7%

2. 発言や発表の仕方を身に付けさせ(10のルール)の徹底)、学習発表の機会を確保します。

学習中に友達の考えを聞いたり、自分の考えを話したりすることができましたか。(児童)

学習のルールを守って学習がすすめられましたか。(児童)



現状
 ・教職員は発言や発表の仕方を身に付けさせようと取り組んでいます。
 ・8割の児童が学習のルールを守って学習に取り組んでいると捉えていますが、2割の児童が学習の取り組みができていないと感じています。

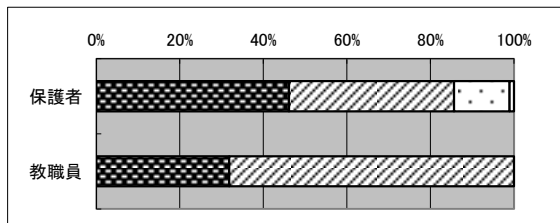
今後
 ・学習ルールが定着していない2割の児童について引き続き指導していきます。
 ・10のルールの周知・徹底を図っていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
27年度	92.6%	80.2%	87.0%

* 児童は2つの設問の合計の割合

3. 教科書の音読、図書の時間などを通して、本を読む意欲を高めます。



現状
 ・読書時間や図書の時間を活用して、本を読む機会を確保しています。
 ・音読も意識的に取り組むようにしています。

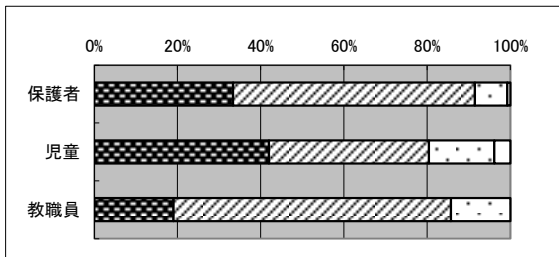
今後
 ・家庭でも読書ができるように保護者に読書の必要性をさらに伝えていきます。
 ・国語の研究を通して、読みの学習を深めていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
27年度	85.7%	100%

4. 心の教育の要として、道徳授業を確実に行っていきます。

道徳や学級活動などで自分や友達のよさを認め合い、いろいろなことを解決することができましたか。(児童)



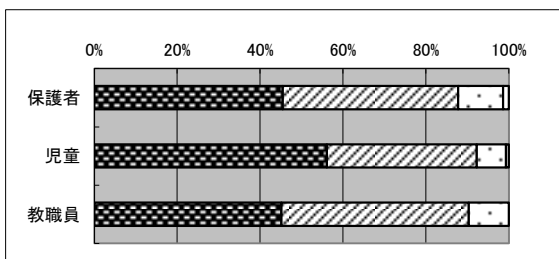
現状
 ・道徳の授業内容と日常生活とを結びつけて指導していきま
 ・活用しきれしていない副読本や資料があるのが現状です。

今後
 ・道徳の学習では、児童の理解につなげるような指導方法を工夫していきま
 ・学級会の話し合いに必要なものを学校で共有して整えていくようにしま

	保護者	児童	教職員
27年度	91.5%	80.4%	85.7%

5. あいさつ、返事、忘れ物など繰り返し指導していきま

すすんであいさつができましたか。(児童)



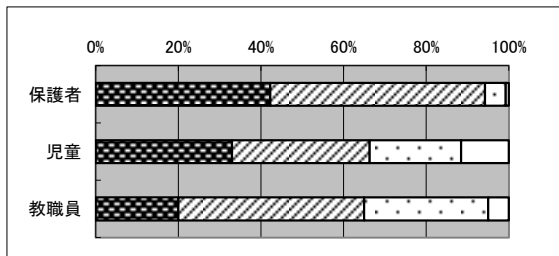
現状
 ・年間を通して、大きな変化(成長)はありませんでしたが、全体的にあいさつはしていきま
 ・忘れ物は家庭に連絡しても協力体制が取れない場合があります。

今後
 ・あいさつや返事は自発的・日常的に、より習慣づけるために新たな取り組みを考えいきま
 ・忘れ物については、根気よく、家庭と連携できるようにしていきま

	保護者	児童	教職員
27年度	87.8%	92.3%	90.3%

6. 5組と1・2・3組との交流および共同学習を計画的に進めていきま

5組のお友達と勉強したり、遊んだりすることができましたか。(児童)



現状
 ・運動会でのかかわりなどがあり、保護者の評価が高くなっています。
 ・低・中学年を中心に、遊びや体育等で交流を行っています。
 ・予定されていた交流給食は、学年によっては実施できませんでした。

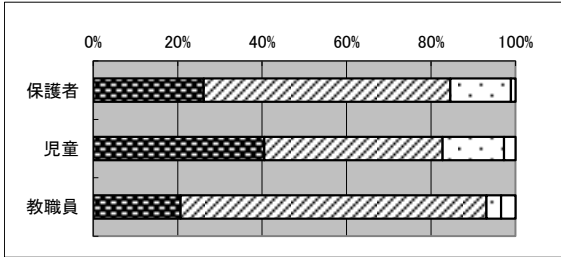
今後
 ・年度始めの計画に沿って、5組と各学年で相談しながら、交流及び共同学習を進めていきま
 ・給食や生活の中での交流も実施していきま

	保護者	児童	教職員
27年度	94.3%	66.3%	65.0%

7. 言葉遣い、友達とのかかわり方を見直しさせ、スクールカウンセラー、心の相談員と連携して子供の生活に対応していきます。

友達にやさしくし、助け合って学校生活をおくることができましたか。(児童)

その場に合った正しいことばづかいができましたか。(児童)



現状
 ・大人に対する言葉遣いはよいです。敬語が使えています。
 ・助け合ったり、協力したりしようとする意識は高まっていますが、まだ課題もあります。
 ・カウンセラーや心の相談員との連携は見えにくいですが、個別の児童に応じて連携し、対応できています。

今後
 ・それぞれの児童が助け合える場を教師が積極的に設定し、児童が友達同士で協力し、学校や学級のために動ける児童を育てていきます。

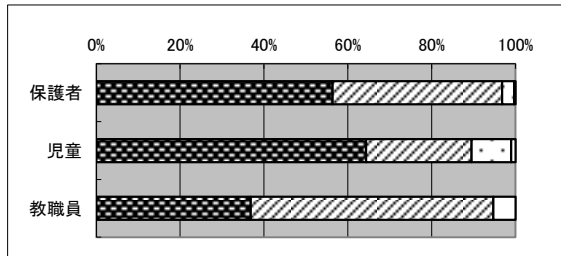
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
27年度	84.6%	82.7%	93.1%

* 児童は2つの設問の合計の割合

8. 全校で水泳、持久走、縄跳びなど目標をもたせて意欲的に取り組ませます。

マラソン、なわとびなど、すすんで取り組むことができましたか。(児童)



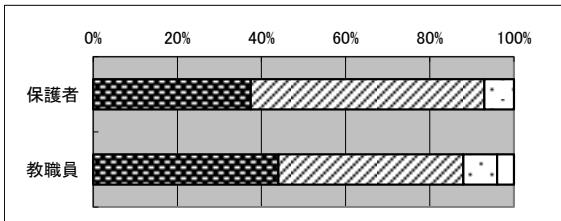
現状
 ・水泳進級表や持久走カード、縄跳びカードなどを活用して取り組みました。
 ・持久走では、記録会に向けて、多くの児童が進んで取り組んでいました。また、記録証は児童の励みになっているようです。

今後
 ・体力向上として、今までの取り組みを継続するとともに、体力テストの結果を生かし、体育や家庭での取り組みをさらに図っていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
27年度	96.8%	89.5%	94.7%

9. 健康で丈夫な体づくりのため、早寝早起きをさせ、朝食をとらせるようにしていきます。



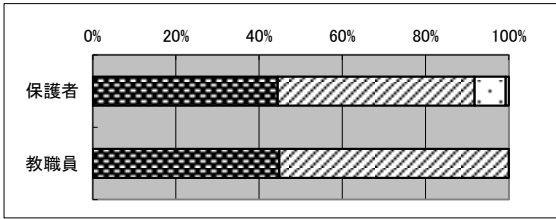
現状
 ・多くの児童は早寝早起きと朝食をとることができますが、少しの児童に生活習慣の乱れがあるのが現状です。

今後
 ・引き続き、体育や食育、お便り等で早寝早起きと朝食の必要性を指導していきます。家庭には、連携が図れるように声かけをしていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
27年度	92.9%	88.0%

10. 5組、いずみ学級、ことばの教室の教員とともに児童一人一人に必要な教育的支援を行っていきます。



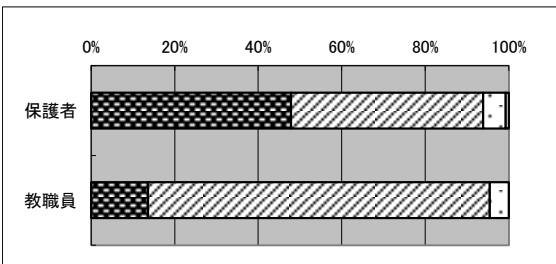
現状
 ・児童についての情報や指導について、教員間で連携し、個別に応じた教育的支援ができていると捉えています。

今後
 ・引き続き、5組、いずみ学級、ことばの教室の教員と協力・連携できるようにしていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
27年度	91.8%	100%

11. 学年に応じて練馬、東京、日本の文化・伝統、自然を生かした学習を進めます。



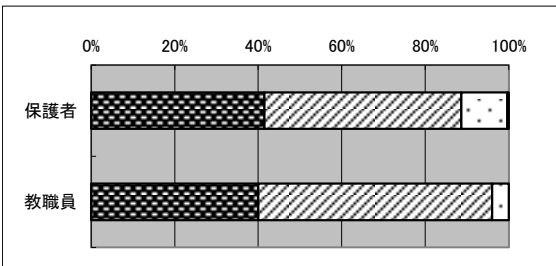
現状
 ・3年生の小泉牧場、4年生の練馬大根などの学習では、児童は、積極的に取り組んでいます。また、保護者の意識も高いと感じています。

今後
 ・地域の特色を生かした学習は総合的な学習の時間などを通して、継続して続けていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
27年度	93.9%	95.5%

12. 進んで情報発信(各種たより、HP、学校連絡メール等)をし、学校の様子が分かるようにしていきます。



現状
 ・学校だより、学年だより、保健だより、給食だよりなどで必要な連絡や周知を行っています。
 ・学校連絡メールが活用されています。
 ・HPは計画的に更新できないときもあったのが現状です。

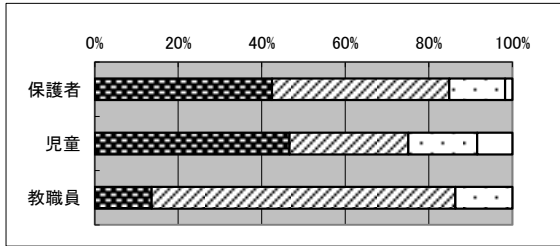
今後
 ・引き続き、各種たよりで保護者への連絡や学校生活を様子を伝えていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
27年度	88.7%	96.0%

13. ご家庭の協力のもと、家庭学習の習慣が身に付くようにしていきます。(10分×学年)

おうちでもすすんで学習ができましたか。(児童)



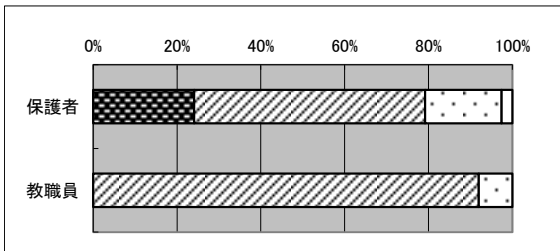
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
27年度	84.9%	75.1%	86.4%

現状
 ・生活習慣が身に付いていない児童が家庭学習も身に付いていない現状であります。
 ・すすんで家庭学習に取り組んでいるか分かりませんが、8割弱の児童は家庭学習の習慣は付いています。

今後
 ・宿題をやってこなかった児童には、最後まで取り組めるような支援方法を考えていきます。
 ・低学年で家庭学習の習慣が身に付くように保護者会や学年だより等で呼びかけていきます。

14. 大泉中学校との小中一貫教育を継続していきます。



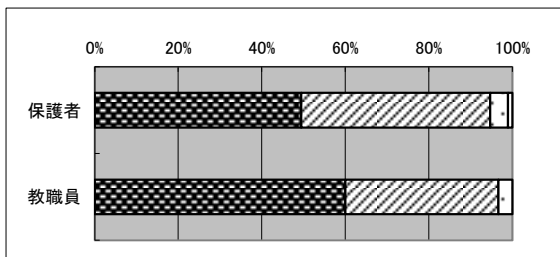
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
27年度	79.2%	92.0%

現状
 ・約2割の保護者が小中一貫教育に対して、意識をしていない現状です。
 ・昨年度と比較すると、小中一貫教育への取り組みがもう少しであると捉えています。

今後
 ・学校だよりなどで保護者へ小中一貫教育の取り組みを紹介していきます。
 ・会議室横の掲示板を小中一貫コーナーを設置し、小中一貫の取り組みを掲示していきます。

15. 体罰や問題行動など服務事故を起こさないようにします。



「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
27年度	94.7%	96.7%

現状
 ・全教職員が服務事故防止研修会を年に2回受けています。
 ・教職員一人一人が服務事故を絶対に起こさないよう意識しています。

今後
 ・今後も服務事故は絶対に起こさないという意識で取り組んでいきます。